

# 風水害

風水害から家族を守る知識と対策。  
気象情報をこまめにキャッチしてください。

## 1 台風が接近したらまず家の補強。

補強する場所は、雨戸、窓ガラス、塀、物干、アンテナ、看板など。接近までに時間がある場合は、防水シートや角材等も用意しましょう。また、植木鉢は強風で倒されたり、飛ばされる恐れがあるので1カ所にまとめておくと安全です。



## 4 大雨・洪水等の注意報と警報について。

### (1)大雨注意報

1時間の雨量が40mm以上  
土壤雨量指数基準 84

### (2)大雨警報

1時間の雨量が80mm以上  
土壤雨量指数基準 120

また、洪水によって災害が起こる恐れがある時は洪水注意報が発表され、重大な災害の恐れのある時は洪水警報が発表されます。



## 5 傾斜地・がけ近くは土砂災害に注意。

大雨や集中豪雨で発生する土砂災害。

- ①小石がパラパラ落ちる。
- ②地面にひび割れができる。
- ③斜面から濁った水が流れ出している等を見たら注意しましょう。また、避難指示が出たらすぐに避難してください。



## 6 台風時の避難について

台風は、暴風や大雨・潮位変動を伴い、様々な種類の災害を引き起こす災害です。状況で避難行動が変わるので、「避難とは」のページで事前に確認し、適切な避難行動がとれるよう心がけましょう。

また、自宅等が強固な場合は不要不急の外出を控え、屋内に留まり、避難所へ避難する場合は、開設されている近くの台風等避難所へ避難してください。



## 3 気象情報に注意する。

台風等の気象情報は、テレビやラジオなどで最新の情報を収集し、市や防災機関の広報等にも注意して聞いておきましょう。

インターネットでも最新の情報を見る事ができます。

<https://www.data.jma.go.jp/okinawa/index.html>  
(沖縄気象台)



# 地震

慌てず行動することが安全の為の第一歩。  
地震直後の津波情報にも耳を傾けてください。

### ポイント 1

#### 落ち着いて身の安全を確保する

テーブルや机の下に身を隠すなどして、まずは自分の身を守ってください。



### ポイント 6

#### 避難は徒歩で持物は最小限に

非常用品はリュック等に入れて一つにまとめておき、避難するときにはエレベーターや自動車は使用しないようにしましょう。



### ポイント 2

#### あわてず冷静に出火を防ぐ

使用中の火を素早く消しガスの元栓を閉める。もしも火が出たら隣近所に協力を呼びかけ、落ち着いて消火にあたりましょう。



### ポイント 7

#### 狭い路地、堀ぎわ、川べりは要注意

狭い路地や堀ぎわでは、堀や自販機の倒壊、瓦の落下など危険が多いので遠ざかりましょう。川べりや崖は崩れる恐れがあるので近づかないようにしましょう。



### ポイント 3

#### 窓や戸を開け出口を確保する

建物のゆがみで戸が開かなくなる事があるので、出口の確保は確実に行いましょう。



### ポイント 8

#### 山崩れ、崖崩れ、津波に注意

危険のある地域では、身の安全を確保すると共に早めに避難行動しましょう。



### ポイント 4

#### 停電後の通電火災を防ぐ

避難で家を空ける時は、電気のプラグを全て抜いておき、通電した際の漏電や倒れた電気ストーブなどによる出火を予防しましょう。



### ポイント 9

#### 正しい情報、正しい行動

うわさやデマに惑わされないよう、ラジオやテレビなどで正しい情報を把握しましょう。



### ポイント 5

#### 慌てて外に飛び出さない

落下物や建物の倒壊など外には危険がいっぱいです。周囲の状況をよく確かめ落ち着いて行動しましょう。



### ポイント 10

#### 避難は早めに、協力しながら…

お年寄りや体の不自由な人に声かけ、ケガ人の手当など、みんなで助け合い早めに避難しましょう。



# 津 波



一瞬にして襲いかかる津波から災害を防ぐためには、とにかく避難する以外にありません。

## 1. 車での避難は控えて

車による避難は渋滞を引き起こし、一刻を争う津波からの避難は危険が伴います。東日本大震災でも、車での避難で渋滞に巻き込まれ、津波で多数の人が命を落としてしまいました。徒歩での避難が困難な方以外は基本的に徒歩で避難しましょう。



## 2. 「より早く、より高く、より遠く」へ

津波が起こる可能性がある場合は、直ちに高台の方へ避難してください。すでに浸水が始まってしまった場合は、近くの高いビルなどに逃げ込みましょう。

